

# 数学 I

使用教科書	単位数	学年・学級・学科・選択名等
新高校の数学 I (数研出版)	3	1年1組、2組

## 1 学習の到達目標

学習の到達目標	数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析という単元について学ぶ。基礎的な知識の習得とそれらを活用する能力を身に付けること、数学的な見方や考え方のよさがわかるようになることを目標とする。
---------	--

## 2 学習計画

学期	月	単元の学習内容	時数	単元のねらい	評価の観点				評価方法		
					①	②	③	④			
前期	4	オリエンテーション	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の流れ、評価、習熟度別学習についての説明を理解する。</li> <li>コース分けテスト</li> </ul>							
	5	「数と式の計算」	19	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校で学んだ簡単な式の展開や因数分解の確認と復習し、さらに複雑な式を簡単な式として見る工夫などを学ぶ。</li> <li>小学校及び中学校を通して、必要に応じて数を拡張してきたが、ここでは中学校までになってきた数を「実数」としてまとめ、平方根の計算を含め、数の体系についての理解を深める。</li> </ul>	○			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の取組状況 (授業プリント・ノート)</li> <li>確認テスト</li> <li>考查対策テスト</li> </ul>		
	6				前 期 中 間 考 査						○
	7	「1次不等式」	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>不等式の中の文字や不等式の解の意味について調べる。</li> </ul>	○				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の取組状況 (授業プリント・ノート)</li> <li>確認テスト</li> <li>考查対策テスト</li> </ul>	
	8	「集合と命題」	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>数学で扱う「集合」の考え方について理解を深め、ものごとを理論的に考える基礎となる「命題」という考え方を学ぶ。</li> </ul>	○				○		
	9				前 期 期 末 考 査					○	○
	後期	10	「2次関数のグラフ」	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数の考え方や意味について確認し、さらに2次関数という種類の関数について式の表現とグラフの関係と活用について調べ、理解を深める。</li> </ul>	○				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の取組状況 (授業プリント・ノート)</li> <li>確認テスト</li> <li>考查対策テスト</li> </ul>
		11				<ul style="list-style-type: none"> <li>2次関数のグラフを通して、値の変化を調べ、最大値や最小値を求める。</li> <li>2次関数のグラフと2次方程式や2次不等式の関係について理解し、グラフを利用して2次不等式の解を求めることを学ぶ。</li> </ul>	○				
		12	後 期 中 間 考 査					○	○	○	定期考查
		1	「三角比」	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>直角三角形の辺の比と角との間の関係を調べ、正弦(sin)、余弦(cos)、正接(tan)を定義し、平面図形や空間図形の計量に活用する。</li> </ul>	○				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の取組状況 (授業プリント・ノート)</li> <li>確認テスト</li> <li>考查対策テスト</li> </ul>
2		「三角形への応用」	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>三角形の辺と角との間に成り立つ関係として、正弦定理と余弦定理を学習する。これらを用いて、三角形の辺の長さや角の大きさを調べる。</li> <li>角を鈍角まで三角比を拡張し、相互関係について調べる。</li> </ul>	○				○		
			後 期 期 末 考 査					○	○	○	定期考查
学年末	3	「データの分析」	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>表やグラフを使いデータを整理し、そこから1つの数値に代表させて表し分析することを学ぶ。</li> </ul>	○				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業プリントの取組状況</li> <li>確認テスト</li> </ul>	

### 3 評価等について

項目	①関心・意欲・態度	②数学的な見方や考え方	③数学的な技能	④知識・理解
内容	数学に関心をもち、数学のよさを認識し、日常生活で積極的に活用しようとするか。	ものごとを数学的に考えたり、考えの過程を振り返り、数学的な見方や考え方を身に付けているか。	ものごとを数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けているか。	数学における基本的な考え方、原理・法則などを全体として理解し、知識を身に付けているか。
割合	20%(点)	10%(点)	10%(点)	60%(点)

### 4 履修にあたっての注意事項

- (1) 1～2時間毎に、授業プリント・ノートの提出をすること。  
(①関心・意欲・態度)
- (2) 1～2時間毎に、確認テストを受けること。  
(①関心・意欲・態度④知識・理解)
- (3) 定期考査直前に2～4時間、考査対策テストを受けること。  
(④知識・理解)
- (4) 定期考査を受けること。  
(②数学的な見方や考え方③数学的な技能④知識・理解)

#### 評価について

評価	評価点
10	100 ~ 93
9	92 ~ 85
8	84 ~ 77
7	76 ~ 70
6	69 ~ 61
5	60 ~ 53
4	52 ~ 45
3	44 ~ 38
2	37 ~ 30
1	29 ~ 0

#### 学年末評定について

評価	評価点
5	100 ~ 85
4	84 ~ 70
3	69 ~ 45
2	44 ~ 30
1	29 ~ 0